

# 常務理事会議事要旨

(令和8年度第5回)

日 時：令和8年6月2日（火）午後1時35分～3時45分

場 所：日薬第二会議室

出席者：岩月会長。森、渡邊、原口、荻野、川上各副会長。上野専務理事。豊見、富永、橋場、長津、山田（卓）、堀越、川名、村杉、山田（武）、田中、白滝各常務理事。

## I. 協 議

### 1. 確認事項

- (1) 会務報告（令和8年5月）
- (2) 外部審議会委員等推薦
- (3) 外部会合等出席者の件
- (4) 取材依頼の件
- (5) 執筆依頼の件

### 2. 協議事項

- (1) 第60回日薬学術大会（福島大会）に関する件
- (2) 第108回定時総会に関する件
  - 1) 第107回臨時総会（令和8年3月）における要望事項への対応
  - 2) 重要事項の経過報告
- (3) その他
  - 1) WPC年次会議における講演内容・スライド骨子案に関する件
  - 2) 「薬と健康の週間」に関連した広報活動等に関する件

## II. 報 告

### 1. 議事録

- (1) 第4回常務理事会（R8.5.26）
- (2) 第1回都道府県会長協議会（R8.5.27）

### 2. 諸通知

- (1) 公益社団法人日本薬剤師会 第108回定時総会の開催について（R8.05.26）
- (2) 「薬剤師資格証」申請システムの変更等について（R8.05.27）
- (3) 「健康ハートの日 2026」及び薬局における血圧測定啓発に関する周知協力のお願  
い（R8.05.27）
- (4) 2026年度全国学校保健調査の実施及び協力依頼について（R8.05.27）
- (5) 健康サポート薬局に係る研修について（その90）（令和7年度開催実績及び令和  
8年度開催計画の確認について）（R8.05.27）

- (6) 動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令の制定について (R8. 05. 27)
- (7) 貴会所属の本会会員に係る令和 8 年度本会会費の徴収等について (お願い)  
(R8. 05. 28)
- (8) コンサータの安定供給について (協力依頼) (R8. 05. 28)
- (9) 再生医療等の提供に関連した「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」に基づく手続等について (再々周知) (R8. 05. 28)
- (10) 公益社団法人日本薬剤師会 監事選挙に関する公示について (R8. 05. 29)
- (11) 令和 8 年度診療報酬改定関連通知及び官報掲載事項の一部訂正について (R8. 05. 29)
- (12) 中東情勢を踏まえた調剤された薬剤に使用する容器又は被包をはじめとした医療用物資等の安定供給に関する協力依頼 (周知) (R8. 05. 29)
- (13) 療養の給付と直接関係ないサービス等の取扱いに関する疑義解釈資料の送付について (R8. 05. 29)
- (14) 「令和 6 年度診療報酬改定による恒常的な感染症対応への見直しを踏まえた新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の取扱い等について」等の廃止について  
(R8. 05. 29)
- (15) 疑義解釈資料の送付について(その 7) (R8. 05. 30)
- (16) 令和 9 年度予算及び税制改正に関する要望について (R8. 06. 01)
- (17) 「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第 8 次 (後期)～」  
について (R8. 06. 01)
- (18) アーウィナーゼ筋注用 10000 の使用期限の取扱いについて (R8. 06. 01)

### 3. 委員会等議事要旨

- (1) 医療保険委員会 (R8. 4. 30)

### 4. 報告事項

- (1) 薬事審議会 医薬品第一部会について
- (2) 薬事審議会 プログラム医療機器調査会について
- (3) 健康・医療・介護情報利活用検討会 医療等情報利活用ワーキンググループについて
- (4) 薬事審議会 医薬品等安全対策部会安全対策調査会について
- (5) 「第一類医薬品及び第二類医薬品の一部を改正する件」に関する意見募集について
- (6) その他
  - 1) 薬学教育協議会理事会について
  - 2) 日本医師会 健康食品安全対策委員会について
  - 3) 自民党 薬剤師問題議員懇談会世話人会及び総会について
  - 4) 令和 8 年度農林水産薬事薬剤師部会 動物薬事研修会について
  - 5) 医道審議会薬剤師分科会薬剤師国家試験出題基準改定部会について
  - 6) 緊急避妊薬の適正販売に係る環境整備のための調査事業について
  - 7) 調剤システム処方 I F 共有仕様 (NSIPS) 会利用案件追加申込について

## 8) コンサータ錠について

# 要 旨

## 議 題

### I. 協 議

#### 1. 確認事項

##### (1) 会務報告（令和8年5月）

上野専務理事より、令和8年5月分の会務報告について、訂正等ある場合は事務局に申し出るよう要請された。

##### (2) 外部審議会委員等推薦の件

以下のとおりとされた。1) 令和8年度厚生労働省委託事業「遠隔医療の普及推進に係る事業」検討委員会委員：荻野副会長、2) 厚生労働省・令和8年度「診療報酬改定DX」タスクフォース構成員：渡邊副会長、3) 薬学共用試験センター理事候補者：渡邊副会長。

##### (3) 外部会合等出席者の件

以下のとおりとされた。1) 第17回超党派医療的ケア児者支援議員連盟総会「日本薬剤師会における医療的ケア児者サポートの取組み（仮）」（6月24日・衆議院第一議員会館）：荻野副会長及び川名常務理事、2) 厚生労働省「都道府県薬剤師会向け地域フォーミュラに関する説明会」（6月頃・オンライン）：渡邊副会長、3) 超党派「脳卒中・循環器病対策フォローアップ議員連盟」役員会（6月10日・参議院議員会館）：荻野副会長及び橋場・村杉両常務理事。

##### (4) 取材依頼の件

以下のとおりとされた。1) 株式会社アドヴァケーション・IMPACT「薬局経営者への期待等について」：森副会長、2) 日経新聞「2026年度調剤報酬改定について」：森副会長。

##### (5) 執筆依頼の件

以下のとおりとされた。1) じほう「第59回日本薬剤師会学術大会ガイドブック（開催挨拶）」：岩月会長。

#### 2. 協議事項

##### (1) 第60回日薬学術大会（福島大会）に関する件

山田（武）常務理事より、本会及び福島県薬剤師会は標記大会を令和9年10月10日（日）・11日（月・祝）に郡山市で開催する。今般、福島県薬剤師会より、特別記念講演の演者候補者について提案があったと報告され、協議の結果、提案のとおり了承された。

##### (2) 第108回定時総会に関する件

###### 1) 第107回臨時総会（令和8年3月）における要望事項への対応

上野専務理事より、第108回定時総会（令和8年6月）にて配付する「第107回

臨時総会（令和8年3月）における要望事項への対応状況」について、担当役員が取りまとめた資料が説明され、意見が交わされた。

## 2) 重要事項の経過報告

上野専務理事より、6月27～28日に開催する第108回定時総会では、上野より「重要事項の経過報告」を行うこととしている。内容については、1) 薬剤師・薬局を巡る議論、2) 調剤報酬改定・医療保険制度等、3) 政府方針等の動向、4) 医薬品提供体制への取組み、5) 医療DX関連の動向、6) 要指導・一般用医薬品等、7) 薬剤師・薬局関連事項、8) 予算・税制改正等、9) 薬剤師の生涯学習支援、10) その他一についてとし、資料は代議員に事前送付することとしたいと諮られ、協議の結果、了承された。

## (3) その他

### 1) WPC 年次会議における講演内容・スライド骨子案に関する件

豊見常務理事より、本年6月15～19日にドイツ・ベルリンでWPC (World Pharmacy Council) 年次会議が開催される。本会からは岩月会長と豊見が参加し、岩月会長が講演を行う予定であると報告され、講演内容・スライド骨子案が示され、意見が交わされた。岩月会長は、1) 我が国の薬局・薬剤師の現状、2) 今年度の主要な課題・争点、3) 達成した成果（患者・薬局・支払者へのメリット）、4) 未解決の課題と今後の見通し、5) WPC ネットワークに期待する支援、6) ネットワークへの提供可能な知見について講演する予定である。

### 2) 「薬と健康の週間」に関連した広報活動等に関する件

原口副会長より、本会が例年「薬と健康の週間」（10月17～23日。主催：厚生労働省、都道府県、本会及び都道府県薬剤師会）に合わせて行っている毎日新聞へのPR 広告掲載について、本年度も同様の条件（全国版朝刊、4回シリーズ、7段1/4）で実施することとしたいと諮られ、協議の結果、了承された。掲載日は10月5日、同12日、同19日、同26日を予定している。また、昨年度と同様に、ウェブ（ニュースサイト「毎日新聞」）にタイアップ広告（全2回）を掲載することも了承された。さらに、PR 記事広告として「会長と著名人の対談記事」または「会長インタビュー記事」を掲載することも了承された。掲載日は10月17日を予定している。また、昨年度行った「本会、日本保険薬局協会及び日本チェーンドラッグストア協会の共同広告の掲載」については、可能であれば本年度も行うこととされた。また本年度も、広報内容に関する国民の意見を収集するため、広告接触者へのアンケートを実施することとされた。常務理事会では、新聞が配達されない「新聞空白地域」が全国的に拡大していることが指摘され、次年度以降の課題として広報媒体のあり方を検討することとされた。

## II. 報告

## 1. 議事録

議題記載の議事録について、訂正等ある場合には事務局まで申し出ることとされた。

## 2. 諸通知

議題記載の諸通知の発簡が確認された。

## 3. 委員会等議事要旨

議題記載の議事要旨が確認された。

## 4. 報告事項

### (1) 薬事審議会 医薬品第一部会について

川上副会長より、5月29日に開催された医薬品第一部会（部会長：森保道 虎の門病院内分泌代謝科部長）の概要が報告された。審議事項では、1) ウゴービ皮下注 0.25mgSD、同皮下注0.5mgSD、同皮下注1.0mgSD、同皮下注1.7mgSD、同皮下注2.4mgSD、同皮下注0.25mg ペン1.0MD、同皮下注0.5mg ペン2.0MD、同皮下注1.0mg ペン4.0MD、同皮下注1.7mg ペン6.8MD、同皮下注2.4mg ペン9.6MD（成分名：セマグルチド（遺伝子組換え）。効能・効果：肝硬変を伴わない代謝機能障害関連脂肪肝炎。但し、中等度又は高度の線維化を有する場合に限る。新効能医薬品。ノボ ノルディスク ファーマ）、2) ブメリティカプセル 231mg（成分名：ジロキシメルフマラート。効能・効果：再発寛解型多発性硬化症の再発予防及び身体的障害の進行抑制。新有効成分含有医薬品。バイオジェン・ジャパン）、3) アバスチン点滴静注用 100mg/4mL、同点滴静注用 400mg/16mL（成分名：ベバシズマブ（遺伝子組換え）。効能・効果：神経線維腫症 2 型。新効能・新用量医薬品。中外製薬）、4) グロベニン-I10%静注 5g/50mL、同 10%静注 10g/100mL、同 10%静注 20g/200mL、献血グロベニン-I10%静注 2.5g/25mL、同 10%静注 5g/50mL、同 10%静注 10g/100mL（成分名：人免疫グロブリンG。効能・効果：自己免疫性脳炎。新効能医薬品。武田薬品工業）、5) ロープレッサ点眼液 0.02%（成分名：ネタルスジルメシル酸塩。効能・効果：次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合：緑内障、高眼圧症。新有効成分含有医薬品。参天製薬）、6) マルシロン配合錠（成分名：デソゲストレル/エチニルエストラジオール。効能・効果：月経困難症。新医療用配合剤。オルガノン）、7) ウエイリズ錠 400mg（成分名：リルザブルチニブ。効能・効果：持続性及び慢性免疫性血小板減少症。新有効成分含有医薬品。サノフィ）、8) ジャクスタピッドカプセル小児用 2mg、同カプセル 5mg、同カプセル 10mg、同カプセル 20mg（成分名：ロミタピドメシル酸塩。効能・効果：ホモ接合体家族性高コレステロール血症。小児用量を追加する新用量医薬品・剤形追加に係る医薬品。レコルダティ・レア・ディジーズ・ジャパン）、9) ソグルーヤ皮下注 5mg、同皮下注 10mg、同皮下注 15mg（成分名：ソマプシタン（遺伝子組換え）。効能・効果：骨端線閉鎖を伴わない SGA (small-for-gestational age) 性低身長症、骨端線閉鎖を伴わないヌーナン症候群における低身長。新効能・新用量医薬品。ノボ ノルディスク ファーマ）、10) サデルガカプセル 25mg、同カプセル

100mg（成分名：エリグルスタット酒石酸塩。効能・効果：ゴーシェ病の諸症状（貧血、血小板減少症、肝脾腫及び骨症状）の改善。小児用量を追加する新用量・剤形追加に係る医薬品。サノフィ）の製造販売承認の可否等が審議され、了承された。報告事項では、ア) リツキサン点滴静注 100mg、同点滴静注 500mg、イ) シムレクト静注用 20mg、同小児用静注用 10mg、ウ) ゼオマイン注用 50 単位、同注用 100 単位、同注用 200 単位、エ) ボトックス注用 50 単位、同注用 100 単位の製造販売承認事項一部変更承認等が報告された。

(2) 薬事審議会 プログラム医療機器調査会について

渡邊副会長より、5月27日に開催された標記調査会（座長：佐久間一郎東京大学大学院工学系研究科附属医療福祉工学開発評価研究センター教授）の概要が報告された。当日は、非公開案件として医療機器1品目の製造販売承認の可否等が審議され、了承された。

(3) 健康・医療・介護情報利活用検討会 医療等情報利活用ワーキンググループについて

渡邊副会長より、5月29日に開催された標記WG（主査：澤智博帝京大学医療情報システム研究センター教授）の概要が報告された。当日は、電子カルテ情報共有サービスについて議論され、当該サービスに登録するアレルギー等情報は「重篤なアレルギー等」とし、まずはアナフィラキシー（疑いを含む）から登録を進めることが了承された。また、医療従事者向けの利用指針を今後作成することが報告された。

「電子カルテ情報共有サービス」は、令和8年冬頃を目途に全国で利用可能にすることを目指している。また、全国医療情報プラットフォームで共有する情報に、薬局が患者から入手し処方医に提供している情報・文書（緊急性が高く電話等でやり取りされている情報を除く）、いわゆるトレーシングレポート等（文書に付随する指導依頼等の情報・文書を含む）を含めることも了承された。2030年を目途に仕組みを実装することを目指し、検討を進める。また、電子処方箋管理サービスにおいて取り扱う情報として院内処方等情報が追加され、令和8年4月から本格運用が開始されたことを踏まえ、救急時医療情報閲覧機能（患者の生命、身体の保護のために必要な場合、マイナ保険証により本人確認を行うことによって、患者の同意取得が困難な場合でも、レセプト情報に基づく医療情報等が閲覧可能となる仕組み）における救急用サマリーに院内処方等情報を追加することが報告された。院外処方された調剤結果情報とあわせて一体的に表示される。なお、救急時医療情報閲覧機能を導入済みの病院は令和8年5月4日現在、950施設となっている。また、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第7.0版（案）」が示され、概ね了承された。専門人材の不足している小規模医療機関を想定した「医療機関等保守委託機関編」が新たに策定される。すべてのサーバにおけるセキュリティアップデートを委託（クラウドサービスの利用を含む）している医療機関等においては、保守委託機関編を遵守することで、その他の編の項目も遵守できているものとみなす旨が追記

される。加えて、二要素認証の導入に関して、医療情報システムのうちクライアント端末及びサーバについて対応することが明確化される。但し、令和9年4月1日時点での対応が困難な医療機関等においては、次期システム改修での対応を許容する旨の緩和措置が設定される。パスワードルールに関しては、使い回しの禁止、アカウントロックの導入について追記される一方、セキュリティ面の強化につながらないとされる「定期的な変更」の要件が削除される。サイバーセキュリティ対策チェックリストについては、「医療機関確認用」と「薬局確認用」が統合され、令和8年度版「医療機関等確認用」となる。厚生労働省は近く、GL第7版を公表する。その他当日は、令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業の結果や、病院における医療情報システムのサイバーセキュリティ対策に係る調査結果が報告された。

(4) 薬事審議会 医薬品等安全対策部会安全対策調査会について

橋場常務理事より、5月26日に開催された標記調査会（調査会長：岡明埼玉県立小児医療センター病院長）の概要が報告された。当日は、製造販売後調査の終了に伴う「セイヨウハッカ油」のリスク区分の見直しが審議され、第1類医薬品から第2類医薬品への移行が了承された。今後、パブコメを経て、医薬品等安全対策部会で正式に決定される。

(5) 「第一類医薬品及び第二類医薬品の一部を改正する件」に関する意見募集について

富永常務理事より、5月26日に薬事審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会が開催され、「セイヨウハッカ油（過敏性腸症候群治療薬に限る。）」についてリスク区分の見直しが審議され、「第1類医薬品から第2類医薬品にリスク区分を変更することが妥当」と判断された。現在（募集期間：6月1～30日）、当該審議結果について意見募集が実施されている。適用期日は8月31日が予定されていると報告された。

(6) その他

1) 薬学教育協議会理事会について

岩月会長より、5月29日に開催された標記理事会の概要が報告された。当日は、令和7年度事業報告案及び決算報告案が了承された。また、令和4年度より日本薬剤師研修センターから同協議会に移管された「認定実務実習指導薬剤師認定事業」等について報告された。

2) 日本医師会 健康食品安全対策委員会について

富永常務理事より、5月28日に開催された標記委員会の概要が報告された。当日は、同会会長からの諮問事項である「健康食品を適切にセルフケアに活かすための提言」について意見交換が行われた。

3) 自民党 薬剤師問題議員懇談会世話人会及び総会について

岩月会長より、6月1日に開催された標記会合の概要が報告された。本会は、令

和9年度予算・税制要望の重点事項として、1)薬局の経営基盤の強化のための支援、2)医薬品・薬剤師サービスの提供体制の強化のための支援（①薬局機能（医薬品の供給、公共的活動）のさらなる充実・強化、②薬剤師サービスの地域格差の改善、③地域を支える基幹的な役割を持つ薬局の充実）、3)薬局の機能強化のための「薬局DX推進」の支援（①医療DX推進に係る機器更新費用の全額補助による薬局の体制整備、②医療機関と薬局で情報を共有するための仕組みの構築、③薬局における業務のデジタル化、④OTC 医薬品の情報を電子版おくすり手帳に追加する機能の拡充）を求めた。

4) 令和8年度農林水産薬事薬剤師部会 動物薬事研修会について

原口副会長より、標記研修会を5月28日にウェブ形式で開催したとして、概要が報告された。研修会では、1)「動物薬事を巡る最近の動き及び動物薬事関連法規・制度について」(柳澤洋喜氏:農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐)、2)「薬剤耐性菌伝播における伴侶動物の重要性」(安木真世氏:大阪公立大学大学院獣医学研究科教授)、3)「引退競走馬のセカンドキャリア(アフターケア)に関する取組みについて」(丹菊将貴氏:一般財団法人Thoroughbred Aftercare and Welfare(TAW) 常務理事)の3題の講演が行われ、参加者数(申込人数)は200名であった。

5) 医道審議会薬剤師分科会薬剤師国家試験出題基準改定部会について

渡邊副会長より、6月1日に開催された標記部会(部会長:三澤日出巳慶應義塾大学薬学研究科教授)の概要が報告された。当日は、薬剤師国家試験の出題基準の改定について議論された。「薬学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)」は令和6年度入学生から導入されており、同カリキュラムを踏まえた新たな薬剤師国家試験出題基準が策定される。厚生労働省は令和8年3月に「薬剤師国家試験のあり方に関する基本方針」を公表しており、当該基本方針を受けて今後作業班で議論し、令和8年度内に具体的な出題基準を取りまとめ公表する。新たな出題基準は、令和11年度の第115回薬剤師国家試験より適用される。

6) 緊急避妊薬の適正販売に係る環境整備のための調査事業について

本会が厚生労働省からの委託事業・調査研究として、令和5～7年度に実施した「緊急避妊薬の適正販売に係る環境整備のための調査事業」について、長津常務理事より、これまでの経過の概要(事業の全体像)が報告された。今後、事業の成果を報告書に取りまとめ、本年6月頃に公表する。また、都道府県薬剤師会担当役員等を対象とした事業報告会を開催する予定である。

7) 調剤システム処方IF共有仕様(NSIPS)会利用案件追加申込について

堀越常務理事より、株式会社MEDIENCERより利用案件追加申込があったことが報告された。

8) コンサータ錠について

堀越常務理事より、コンサータについては令和7年9月以降、限定出荷となっており、厚生労働省は令和8年5月27日付けで事務連絡「コンサータの安定供給について（協力依頼）」を都道府県等に通知し、本会にも協力依頼があったところである。薬局に対しては、「過剰な発注を控え、当面の必要量に見合う量のみの購入」等が依頼されていると報告され、意見が交わされた。発達障害当事者協会は5月15日、上野厚生労働大臣宛てに要望書を提出し、不足解消に向けた特例措置として薬局間の譲渡・譲受を求めている。

以 上